



## 御大切に育てたウミガメ放流 前崎の海岸で再会願う

御前崎小学校の5、6年生が中心となって飼育してきたアカウミガメの放流が7月7日、下岬海岸で実施され、全校生徒約220人が参加しました。下村駿介さん(6年)は「土日もお世話をしないと行けないから大変だったけど、みんなで協力してがんばれた」と飼育の体験を下級生らに話しました。20匹受け入れたうち16匹ものカメが元気に成長し、児童らが見守る中、大海原へと旅立ちました。



## に待ちに待った海開き ぎわいと安全を祈願

海水浴場開場式が7月8日、マリンパーク御前崎で開かれ、関係者約50人が参列し開場期間中の海の安全を祈りました。市観光協会の下村裕会長は「海は安全第一。海水浴場利用者が安心して心に残るひとときを過ごせるよう努める」とあいさつしました。

開場式に合わせ、NPO法人浜名湖クラブから子ども用ライフジャケット8着が市観光協会へ贈呈され、無料貸し出しサービスが始まりました。

## 病透き通った歌声と夏の花を楽しむ 院を彩るヒマワリ畑

ひまわりコンサートが7月22日、市立御前崎総合病院で開かれました。同病院利用者や地域の住民約80人が、市少年少女合唱団の歌声を楽しみました。子どもらは「森の水車」や「小鳥の結婚式」などの歌を披露したり、病院の2階テラスで育てられたヒマワリを来場者へプレゼントしたりしました。童謡「ふじの山」などの有名な曲には来場者も参加し、会場全体でコンサートを楽しみました。



## さ高齢者の移動手段に地域協働バス くら号運行開始!

高齢者の日常生活の移動手段となる協働バス「さくら号」の安全祈願祭と運行開始式が7月24日、佐倉公民館で開かれました。

利用対象者は佐倉地区に住む介助を必要としない65歳以上の高齢者や障がい者で、佐倉地区福祉推進委員会の山本和宏会長は「無事故で利便性の高い運行を目指し、多くの高齢者に利用してほしい」と話しました。